

雪山訓練 ② : 谷川岳天神尾根

- ◆日程 2020年12月12日(土)~13日(日)
 ◆メンバー L : ST、SM、HN、MD、OT、TY、TO

12月12日(土) 天候 : 曇り

雪上訓練第二弾。意気揚々と谷川岳ロープウェイへとアクセスする。到着が昼頃だったせいか、切符売り場のフロアには客が誰もいない。自分たちメンズ7人だけ。雪不足でスキー場はオープンしておらず、なにか寂しい。それでも、ロープウェイの山頂駅についてみれば、それなりに人がいる。グループがメインで雪訓も多く見受けられた。

まず、我々はテン場の確保をする。運よく先週のチームと同じ場所を確保することができた。テントの設営を終え、明日の朝に迎えるであろう、大トイレの設置だ。HNさんが便器風に足場と落とし所を作る。そこに、私が金隠しを作ってみる。画像がないのが残念だが、なんか様になっている。仲間のテントからは☉部分は見えないが、登山道からは丸見えなのもまた面白い。先週のチームはどこで大小をしたのだろうか？ 新しい雪が少ない今、水となる雪はどこから確保するか、それに、少し掘ったら「物」がでてきそうだなあ・・・と頭によぎった。

設営後はグレンデに戻り、様々な雪上訓練を行う。雪面での滑落停止訓練では斜度がなく、私は尻が重みで雪面に沈むのに、同じ重量級のSTさんは何故か滑り落ちていく。なぜだ！？ 生地の違いなのか？ それともWAXでも塗ったか！？ 実際の現場ではお断りだが、訓練ではいい滑りをしていた。

テン場に戻ってからは、寒いので個人のテントに入り込む。ストーブで湯を沸かしながら、テント内の温度を上げていく。暖かくなったところで、本日のご褒美、ビールいっちゃいます！ 雪で冷やして置いたので丁度飲み頃だ。喉越しよく一気に飲み干す。そして次のステージは、熱燗だ！ 180mmℓの小さな紙パックに入った日本酒を2個、雪で溶かしたお湯にドボン。熱くなってきたところで、付属のストローでチビチビと吸い上げ体を温めていく。酒のあてには、セブンイレブン「金」シリーズのカレー&ライスだ。テント内にカレーの香りが充満して食欲もあがってくる。決して大きくはない、でもしっかりとしたお肉が味わえるのも「金」シリーズならでは。ライスはアルファ米ではあるが、山では御馳走だ。そして、最後のシメには、カレーの匂いにも負けないくらい個性的なスコッチウイスキーをいただく。スモーキーな香りと濃いストレートな味わいが胃にしみる。おかげで体も温まり安眠できそうだ。

深夜、外に出てみれば星が美しく輝いていた。明日は安全登山ができるよう星々に願うとともに、自分が今ここにいることに幸せを感じる瞬間でもあった。

(記 : MD)

CT : 谷川岳ロープウェイ山頂駅 12:00/12:20 - テン場 12:50/13:50 - 訓練
 14:30/15:50 - テン場-16:10

12月12日(日) 天候：晴れ後雪

朝5時起床、風は無く穏やか、1人用テントの朝は寒い、昨夜12時頃雪はやんでいたようだ、雪に埋まる心配は無かった。朝食はアマノフーズのチーズリゾットと魚肉ソーセージだ、定番だが手軽で旨い。お湯を沸かして水筒に詰める、集合6:30まで1時間ない、寒いのでぎりぎりまで寝袋に入っていたかったが、身支度をして寝袋とマットを畳む、1人テントだと畳み易いと思った。

6:30 集合、肩の小屋を目指す、快晴だ、途中熊穴沢避難小屋を通るがテントは少なかった、ここに7張はやっぱり無理かと思ったが、藪の中に張っているパーティーが居た、これなら行ける。

肩の小屋に到着した辺りから天気が怪しくなる、新潟方面は黒い雲で覆われている、午後は間違いなくあの雲が来るだろう、トマの耳到着、既に雪が流れてくる、オキの耳に向う鞍部で吹雪いてきた、急ぐ、オキ、トマ、肩の小屋と急いで戻る、視界がホワイトアウトだ、肩の小屋で小休止する。日帰り組がロープウエーから上がって来た、かなりの人が山頂を目指している、この吹雪で断念して戻る人もいるようだ。12:20 テント場に戻り、雪をかぶったテントを撤収、ロープウエー駅まで戻った。

(記：ST)

CT：テント場出発6:35 - 熊穴沢避難小屋7:10 - 肩の小屋9:15 - トマの耳9:30 - オキの耳10:00 - テント場着12:10 - ロープウエー駅14:00

